
平和島静雄ブチギレバイト録-VIOLENCE WORKER RECORD-

柳雨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

平和島静雄ブチギレバイト録 - VIOLENCE WORKER
RECORD -

【Nコード】

N6919N

【作者名】

柳雨

【あらすじ】

東京・池袋で最も敵にまわしてはいけない男…平和島静雄のバイトレンスに満ち溢れたバイト・バイト・アルバイトの日々！

(前書き)

本作はアニメならびにライトノベル(電撃文庫)の『デュラララ!』のキャラ・平和島静雄を主役とした二次創作+他アニメのキャラを交えた小説です

尚、DVDでアニメ四話までしか見てなくて微妙な点はWiki頼りにした状態で書いたためキャラ像が掴み切れず、静雄のキャラと性格が違って見えたらすみません…(汗)

また閲覧の際には過剰なまでのバイオレンス表現に御注意を…

・様々な人間が住み、様々な異邦人達が行き交い、常に様々な人間模様や喧騒・事件を忙しなく織り成す街：それが東京・池袋。

・色々と刺激的な青春を謳歌してる高校生が学園生活を送っていたり、ロシア人が寿司屋（回ってない）をやっていたり、『首なしライダー』なる都市伝説があったり…池袋にはよくあることだ（普通は無い）。

・そんな池袋の個性豊かな人間達が住んでるが…中には絶対に敵にまわしてはいけない存在というものもいる。

・今回はそういった人種に該当するうちの一人の何気ない昔話、池袋以外にも各地を転々としていた時の数々のバイトや仕事の話をしていくこととする…。

・何年か前、とある高校の購買部にて。

「…っらっしやいませー。」

「肉まんくださーい。」

「…105円になります、毎度ー…。」

・長身、金髪にグラサン、常時不機嫌な表情だが割と整っており、

黙ってれば美形と言っても良いくらいの顔つきに低めの声で淡々と、もの静かに、高校生相手に購買部のレジ係という接客業のバイトをしている若者がいる。

- 彼の名は『平和島静雄』：彼がどういう人間かを説明すると、自分から争い沙汰を起こしたりそういった面倒事自体を好まぬ、名前の通り『静かな平和』を好む、至つてももの静かで暴力が嫌いな大人しい男である。

(やれやれ…もうじき昼休みも終わりだな、ガキ共が授業入つから、しばらくはやること無いし、充分に休める…。)

- 昼休みの時間が終わりに近づき、あれだけいた長蛇の列も段々淋しくなつてきたため、静雄は今日も何もトラブルが起きなくてよかったことにホツとし、休憩には自分が好きな牛乳飲みながらタバコを吸おうかなと考えてた時、『最悪な事態』が起きてしまった。

「うわ！？なんだなんだ!？」

「おい！割り込むなよ!!！」

「うるさいわねー！ケチケチしないで大人しく譲りなさい!!！」

「やめねーか！ハルヒ!!！」

- 数人程並んでる男子生徒達を全員押しつけて無理矢理静雄がいるレジ前までやって来る頭に黄色いリボン付きカチューシャを付けた『ハルヒ』と呼ばれた女が乱入してきた、普通を絵に書いた様な牙えない男子が止めようとしたがハルヒなる女子はまるで聞いちゃいない。

「アンタ！ヤキソバパン出しなさいよ！！高校生のお昼はやっぱりヤキソバパンじゃないとね！」

・口の聞き方がまるでなっていないし、周りの迷惑すら考えない無神経さに静雄は軽くイラツときたが、自分の方が大人だから高校生相手にキれるのは大人気ないので少し注意するだけにした。

「おいコラてめえ、周りの奴らも言ってるだろーが？ちゃんと後ろに並べや…ちなみにヤキソバパンは人気だからとつくの昔に品切れだ、バカ。」

「何よ！？文句あるっての！それに売り切れ！？バカはそつちよバカ！…つてかアンタ古泉君に声が似てるわね…古泉君が機嫌悪くしたらこんな感じかしら？」

「ハルヒ！！その店員さんの言ってる通りだ！！並べ！！」

「嫌よ！バカキョン！！」

・静雄の言い方にもやや問題あるがハルヒは自分の非を認めるところか静雄をバカ呼ばわり、さらにハルヒは自分に常識的な注意をしたキョンと呼ばれた男子にまでバカ呼ばわりしたため、とうとう…。

「…サツサと後ろ並べつつってんだよゴラアアアアアア！！あと『古泉』って誰だアアアアアアアア！！」

「あべしッ！？」

「…へ？？？？」

- キレた、しかもマジギレだった、静雄はもの凄いスピードで腕を振るい、ハルヒ：女子高生相手に本気の顔面パンチをブチ込んだ、そのためハルヒは鼻血や吐血を撒き散らしながら数十メートル先までブツ飛んだ、まるでアメコミの無敵のヒーローが悪党をブツ飛ばすワンシーンのようである。

- 静雄は大人しい静かな男だが唯一の欠点がある、それは異常なまでに沸点が低い超絶短気な癪癪持ち、平たく言えば『超キレやすい性格』+自他とも認める『バカ』なのである。

「そんなにパンが食いてーなら持つてけやアアアアアア！釣りはいらねーぞ！！ボケエエエエエエツ！！」

「たわばツ！？」

「ハルヒイイイイイーツ！！」

- なんと、静雄は普通ならば人間の力では絶対持ち上がらないパンの陳列棚を『素の力』で掴んで持ち上げて、ハルヒ目掛けて投げつけた。

- 人間は通常、無意識に己の肉体に負担をかけないように『リミッター』をかけており、普段使ってる力はほんの数十%（某世紀末救世主漫画より抜粋）程度しか使っていないという：しかしこの平和島静雄は『違う』。

- なんと、この男は生まれつきそのリミッターが『外れて』おり、故に人間離れた『超怪力』を常時発揮出来る『特異体質』の人間なのであり、その気になれば道路標識をブチ抜いて振り回したり、

自動車をボール代わりにサッカーするなどの人外じみた所業が『マジで』出来てしまう。

-さらには例えばナイフで腹を刺されてもたつたの『5?』しか刺さらない異常なまでに固い腹筋など、肉体も普通の人間のそれを遙かに越えていた。

-異常なまでにキレやすい性格と過剰なまでの超怪力を持つてる故に『池袋では『池袋で最も敵にまわしてはいけない男』『池袋最強』『池袋の喧嘩人形』との異名で不良や裏社会の人間などからそう呼ばれ、静雄は彼らが裸足で逃げ出したくなるくらい恐れられている。

-その後、ハルヒは病院に搬送、顔面複雑骨折・全身複雑骨折・内臓破裂で全治半年の入院を食らい、その後、彼女のトンデモ能力で世界が滅びかけたがキヨンがなんとか治めたとか…。

-こうして静雄はバイトをクビになった…しかもこれが初めてではない、過去にも何度かプツン切れて暴力沙汰を起こしてバイトを自分でも数え切れんくらいクビになってる、もう慣れっこだ。

-彼は『元バイト先』である北高校を去り際に、一つ疑問を感じた。

(そんなに『古泉』って奴に声似てるかな?オレ…。)

-…声が自分と似てる『古泉』なる人物のことだった、キレて怪我させたハルヒに対する罪悪感など微塵も無かったという…。

・次はデパートのヒーローショーのバイトを始めた。

・静雄は類い稀なる高い身体能力と運動神経（但し怪力は除く）を持ち合わせていたため、ヒーローもしくは悪役：どの役を演じても素晴らしいアクションを見せており、バイト仲間や雇い主からの評価も高かった、また、本人も満更ではないようだ。

・だが『惨劇』はまた起きた。

『ハハハハハ：今日こそ貴様らの最後だ！貧乏戦隊カネクレンジャー！！！！』

『おのれ：悪の成金魔獣・サツタバーめ！！』

『ヒャッハッハッハッハッハ！！金さえあれば！何でも出来る！！』

・ある日、子供達に大人気な特撮・戦隊ヒーロー『貧乏戦隊カネクレンジャー』のヒーローショーにて、マスクに下着一丁という貧乏ファッションをしたヒーロー「カネクレッド・カネクブルー・カネクピンク（ブラとパンツだけのお色気担当）の三人を相手にしている悪の怪人・成金魔獣『サツタバー』という全身がジェラルミンケース・金庫・札束で出来た変な姿の怪人役で静雄は今日も頑張っていた。

『貴様：金で何でも買えると思うなよ…！！！！』

『買えるんだよこれが！命も！魂も！プライドもなッ！！ヒャーハッハッハッハー！！トドメを刺してやるぜエッ！！！！』

・ヒーロー側のリーダーカネクレッドの指摘もものともせず、サツ
タバ（静雄）はノリノリで悪役全開なセリフを言いながら演じな
がら、ゴールドンハンマーなる必殺武器でトドメを刺してやる…と
見せ掛けてカネクレンジャー達の必殺合体武器『セケンニマケタバ
ズーカ』に逆転負けすれば静雄の本日の役割はこれでおしまい…。

…『そのはず』だったが…。

「ハイハイ！！バブー！！チャーン！！」

「イクラ！ステージが上がっちゃダメよ！！」

（な…なんだこのガキはツ！？）

・なんと『ハイイ・チャーン・バブー』しか喋らないことで有名な
幼児・波野イクラが母・タイコの制止も無視していきなりステー
ジに上がり、カネクレンジャー達を庇う様に威嚇する。

「やめてくださーい！カネクレンジャーをイジメちゃダメですー！
！」

「タラちゃんまで！？ダメよ！」

・不思議な足音を響かせることで有名な幼児・フグ田タラオもカネ
クレンジャーを守るため、母・サザエの制止を振り切ってサツタバ
ー（静雄）の前に立ちはだかる。

『チツ…どけ！小僧共ツ！！ステージに勝手に上がる奴は札束風呂
の快楽に溺れさせて成金に変えてやるぞ…って！？イダダダ！！叩
くな！噛みつくなアアアアアアアアア～！！？』

…ついにまたキレた、静雄はカネクレンジャーの原作通りに作られたまず人間の力では持ち上がらない超重量のサツタバー専用武器ゴールデンハンマーでイクラの顔面を殴って場外ホームランし、タラオの頭をブン殴って床に陥没させて血祭りに上げた。

「あなた！私の子に何を…！？ぎゃああああ！？」

「サザエさ…んごはああああ！？」

『ちょッ…！？平和島さん！？子供や親御さん相手にそれはマズイ…ブフッ！？』

『うるせエエエエエエエエエ！！もーどーにでもなれやアアアアアアアアアアアアアア！！』

…一度キレたら歯止めが断じて効かない静雄は怒り心頭で言い寄るサザエの頭を掴んで力任せに目茶苦茶ブン回してタイコに投げつけた、さらには止めに入ったカネクレッド達にすらヤケ気味で殴り飛ばした。

…結論から言おう、見事に『殺り』過ぎてまたクビになった…

…波野親子・フグ田親子・バイト仲間・その他の観客全てに暴行し、ステーキも目茶苦茶にブチ壊した、なって当たり前だろう…静雄は未だイラつきながらもデパートを後にした…。

(三度目の正直…さあ今度こそ真面目にやるぞ。)

・次に辿り着いたバイト先は某有名アニメショップ(アメト)だった

・ライトノベルや漫画などの書籍を並べたり、レジで客を相手にしたりと割と忙しく動く仕事だが、静雄の常人離れした体力のおかげで中々やり甲斐があった…静雄本人はそんなにアニメには詳しくないが客商売は何度も経験あるため接客も苦にはならなかった。

・だが二度あることは三度ある！それが世界一キレイやすい平和島クオリティー…負のスパイラルからは断じて抜けられないのがデフォである！

「…ポイントカードはご利用になりますか？」

「はい どうぞ」

「…××××ポイント引きにより料金は×××円になります、ありがとうございます。」

・() な顔したアホ毛を生やした青く長い髪の小柄な女子高生・泉こなたはポイントカードを使って大量の漫画を購入…静雄はポイント割引してから袋に包んだ商品とレシートを彼女へと渡す。

「わぁ〜いいな〜こなたちゃん、割引してもらって〜。」

「カード作ればつかさも割引出来るよ？ほら、簡単だから行っといで〜」

・薄紫の髪に黄色いリボンをつけた女子高生・柗つかさはあなたのポイントカードでの割引をうらやましがったため、こなたはカード作成の手続きの仕方を教えてレジに行かせる。

「すみませ〜ん、ポイントカード作りたいたいんですが〜。」

「…ではこの用紙に名前・住所・電話番号・メアドなどをお書きください…。」

・静雄は先程の二人のやり取りを見てたため、すぐさま対応、ポイントカードの作成用紙とペンをつかさに渡す。

「えーと…んーと…あ、名前間違っちゃった!？」

「…どうぞ」

「あはは…すみませ〜ん…『さ』と『ち』は似てるよね〜。」

・つかさは『柗つかさ』と書くべきところに『柗つかち』と書いたため苦笑…静雄は代わりの用紙を差し出した…。

・さらけ。

「あ…また間違った…ああまた…まただ…住所に『ヨーグルトですか?』って書きちゃった〜…もう一枚…ああまた!？」

「…。」

…つかさは頭はあまりよくない方だと静雄は無言で思ったが、何

度も書き間違えるほどバカでしかも動きもトロくさくて動作の一つ一つがかなり遅いとは思ってもよらなかつた、しかも…。

(ゲツ…このガキの後ろに並ぶ客が『早くしろ』オーラを漂わせ始めてるツ!?)

- つかさのいる静雄のレジにはいつの間にか沢山の客が並び出し、さらに悪いことに一人一人が憤怒の形相を浮かべた修羅の顔になっていた…。

(頼むから早く終わらせてくれ! アイツら全員と揉めたかねーし、またクビになんてなりたかねーんだよ!!)

- 静雄の顔にも焦りと苛立ちが浮かび、客相手にまたキレてクビになるという最悪なビジョンを浮かばせながらつかさの用紙を書き終えるのを見守るが…。

「いつけないーい 名前を『バルサミコ酢』にしちゃった てへへ…すみませーん! もう一、枚…?」

- 最後の最後で失敗しやがった…大体何をどうしたら『終つかさ』を『バルサミコ酢』などと書き間違うのか?

- つかさの友人・泉こなたは以前『リアルのドジツ子はム力つく』という弁を述べてたことがあったがまさに今がその状況だ。

- OK、もう我慢の限界だ…戦慄の平和島無双(なんだそりゃ?)の始まりだ!

「はよ書けやエエエエエエーッ!」

「バル酢ッ!？」

「「ぎゃあああ!？」」「」

・最早今の静雄の頭の中にはクビになる後悔など無かった…等身大アニメキャラフィギュアを引っ搦んで投げつけ、他の客も巻き込みながらつかさにぶつける。

「何遍も何遍も間違えやがって!クソだらあああああああ!！イライラするんだよアアアアアアアア!！」

「た…たすけて!こなちゃん!お姉ちゃ…ひ…で…ぶウ…!！」

「「つかさアアアアアア!？」」

・倒れたつかさの頭を踏み潰して鮮血を浴びる静雄、薄紫のツインテールの髪のかさの姉・かがみとこなたは絶叫を上げた。

「オラオラ!もうどーなっただって知ったこっちゃねエエエエエエエ!！何もかも全部ブツ壊したらアアアアアア!！ヒャーハッハッハッハッ!！」

「ぎゃあああ!？」

「ばわっ!？」

・静雄は半ば狂い気味にかがみのツインテールを力任せに引っ張って引き千切り、こなたのアホ毛を引っ張って中年ハゲにしてやった、本棚やレジ台を持ち前の怪力で持ち上げての怪獣王ゴジ ぱり

の暴れはつちやくぶりを見せつけた『大破壊』を行った。

- …結果…ア メ トが一件、文字通り『崩壊』した、こなたとかがみは髪の一部がハゲになり、つかさは頭蓋骨陥没、客は例外なく病院送り、店は破壊…言うまでもなく静雄はクビになりましたとさ。

- 平和島静雄はそれ以後も様々なバイトを転々とし、失敗を繰り返して、そして後に池袋に舞い戻り、バーテンダーの仕事、転じて現在、バーテン服をトレードマークにし、中学時代の先輩のツテで持ち前の狂暴性を生かした借金の取り立てで生計を立てているという…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6919n/>

平和島静雄ブチギレバイト録-VIOLENCE WORKER RECORD-

2010年11月2日15時38分発行